

第9回

自分の意志を伝えよう

講師

阿野 幸一

◆◆◆ 今回の目標 ◆◆◆

助動詞 will が動詞の前につくと、「～します」「～するつもりだ」という話し手の現在の意志を表します。また will には、話し手が話をしている時点で「～になるだろう」「～するだろう」と推量・予測する使い方もあります。will を使って「私は～するつもりです」と、自分の意志を伝えてみよう！

be going to が、すでにやると決めていたり、前もって予定していたりすることについて使うのに対して、will は、その場で決めたこと、判断したことに使うので、その違いに気をつけましょう！

1 スキット前半の内容から



登場人物の気持ちを感じとりながら、will の使い方をつかみましょう！

Kenが待っていたのは？



Davis さんのお宅にホームステイしている Ken にはこの日、心待ちにしていることが…。そこへ Davis さんが買い物から帰ってきます。

Ms. Davis : I'm home!

Ken : Hi, Ms. Davis. Wow, you always buy a lot of food at the supermarket!

I'll help you.

Ms. Davis : Thank you.

Ken! Will you put them on the table?

Ken : Sure.

2 文法・表現 助動詞 will



I'll を使って伝えるのは、いつ決めた「自分の意志」でしょうか？

I'll は、I will の短縮形で、以前のスキットでも出てきた料理の注文の場面での I'll have the steak. (私はステーキにします。) のように、日常会話の中でよく使われます。

☆ 番組の中で出てくる I'll を使った会話文の意味を書いてみよう。

I'll help you. ()

I'll get it. ()

I'll carry it for you. ()

I'll call you at 8 p.m. ()

will と be going to の違いは？

be going to の be going というのは現在進行形なので、to 以下のことに向かって何か「進行している」、つまり、動作や行為が未来に向かって進行中であることを意味します。進行中ということは、その文を言う前から、その内容が計画されていたり予定されていたりすることになりますよね。

be going to がすでに予定されている未来を表すのに対して、will は、話し手が話している時点で判断したことを伝えるときに使う言葉です。今日のスキットでは、たくさんの荷物を持っている Davis さんを見た Ken が、荷物を運ぶのを手伝おうとその場で判断して、I'll help you. と伝えていましたね。このため、will を使って表現しています。will は現在形のため、話をしている時点での意志であることがわかりますね。



3 助動詞 will の使われ方



will は話し手の「推量」「予測」を表すこともあります！

will は助動詞なので can と同じように、主語が何であれそのあとに続く動詞は原形のまま使われます。

It will be rainy tomorrow. (明日は雨になるでしょう。)

John will pass the next exam. (ジョンは次の試験に合格するでしょう。)



「～してもらえますか？」と、will を使って聞いてみよう！

「窓を開けてもらえますか？」

Will you open the window, please?

「今の時間を教えてもらえますか？」

Will you tell me the time?

「駅までの行き方を教えてもらえますか？」

Will you tell me the way to the station?

目的外的
使用禁止

4 どんなときに the をつける？



a glass と the glass の違いについて考えてみましょう！



Will you pass me a glass?
Sure, here you are.

Will you pass me **the salt** ?

(お塩を取っていただけますか?)

は、食卓などでよく使われる表現です。

ではどうして、クリステンはコップを取ってほしいとき、Will you pass me **a glass**? と「a glass」にしたのか考えてみよう。

a と the の使い分け

番組の中で次のようなやり取りがありました。

テーブルにあるお塩を取ってほしいときには

Will you pass me **the salt** ?

と、salt に the がついていますが、グラスを取ってほしいときには

Will you pass me **a glass** ?

のように glass に a がついています。なぜでしょうか？

the は、話し手と聞き手が1つのものに特定できるときに使います。

テーブルの上にはお塩が1つしかないため、そのお塩のことを話題にするときには、**the salt** となります。

それに対して、テーブルにはコップが3つ置いてありますが、取ってほしいのは3つのうちのどのコップでも構わないため、**話し手と聞き手で1つのコップに特定されていません。**

3つのうちのどれか1つということなので、**a glass** と a をつけて使われています。

